

オープン ラテン部門出場

鈴木奨太・鈴木千尋組

私達はアマチュア統一全日本選手権大会で優勝をさせて頂き、JAL様のご支援の下英国のブラックプールダンスフェスティバルに出場させて頂きました。

伝統あるウィンターガーデンのフロア、生バンドの演奏、各国から集まるダンサー、ダンサーであれば一度は踊りたいと思う事でしょう。

納得いく結果は出せなかったものの、今後の自分たちにとって、とても貴重な経験をさせて頂きました。

各国からトップレベルのダンサーが集まるため、体格は勿論のこと、技術、スピード、パワー、リズム、ベーシック力、表現力、全てにおいて踊りの中で洗練し尽くされていました。

そのなかでも特に表現力が秀でていたと思います。自分がこうあるべき、というようなものが踊りの中からしっかりと伝わってきて、見ている側も高揚感や、緊張感などを感じさせられ、心を踊らされました。

自分達が今一番足りていないものはそこだと思いました。勿論ただ表現するわけではなく、ベーシックからくる表現や、体のスムーズなながれの表現、そしてどっしりとした重たさの中にある表現など、表現といっても一つではないと思います。踊りの中の表現に意

味を持たせ、一つ一つ洗練させて行きたいと思わされました。

そして今回衝撃を受けたのが、中国人ダンサーの踊りです。

同じアジア人でありながら、U21を優勝など、ここ最近では著しく勝ち上がってきています。

フロアサイドで待っている時など一瞬たりとも気を抜かず、体格の差など気にしないかのように自分達に溢れるほどの自信を持っているのが伝わってきました。

同じアジア人でありながら圧倒的な差を感じたと同時に、同じアジア人だからこそ、体の使い方や、技術面、ベーシック力、スピード、パワー、表現力など、自分達にもできると、沢山のヒントを得ることができました。

最後に、今回ブラックプールダンスフェスティバルに出場させて頂き、日本では経験できない沢山の事を学ぶことが出来ました。

体づくりや技術面でもまだまだ足りていない事は多く課題が山積みです。課題をクリアしていき、次はこの舞台でファイナルに入りたいと思います。

ジャパンアマチュアリーグの皆様、貴重な経験をさせて頂き心より感謝申し上げます。

